

バックナンバー

(特集一覧)

2018
(Vol.29)

4月号
(No.4)

呼吸管理入門

—はじめての現場で困らないために—

磨田 裕 編

- 尾崎塾式 血液ガスを直感的に読み解く 尾崎孝平
- 人工呼吸器の換気モード
—3つの基本モードを押さえよう— 相嶋一登
- 酸素療法の基礎
—治療の目的と種類・適応・有害性を押さえよう— 古田島 太
- 酸素療法の新潮流 HFNC を押さえよう 古田島 太
- 加温加湿の基礎
—吸入気の湿度・温度の関係から臨床での諸問題までを押さえよう— 磨田 裕
- 人工呼吸管理中の合併症
—患者の社会復帰につながる予防策を押さえよう— 藤本潤一
- 人工呼吸中の鎮痛・鎮静
—適切な痛み対策を押さえよう— 布宮 伸
- 必ず役立つ用手換気器具の基礎知識 窪 孝充

5月号
(No.5)

特集Ⅰ 血液浄化療法入門

—原理と臨床の基礎を知る—

篠田俊雄 編

- 血液浄化療法に应用されている原理と物質除去の指標 小久保謙一
- 血液浄化療法の臨床効果の特徴と治療指標
血液透析, 血液濾過, 血液透析濾過 久野 勉
腹膜透析 中元秀友ほか
血漿浄化療法: 血漿交換法, 血漿吸着法 岡戸丈和ほか
血液吸着療法 遠藤善裕
持続的腎代替療法 花房規男

特集Ⅱ わが国における透析用原水の実態調査結果

内野順司ほか

6月号
(No.6)

特集Ⅰ 人工心肺入門

許 俊鋭 編

- 心臓血管外科手術と体外循環 竹谷 剛
- 人工心肺装置—仕組みと役割— 見目恭一
- 人工心肺に関する安全装置と周辺機器
—役割と注意事項— 安野 誠
- 体外循環の実際 安田 徹
- 体外循環中に使用するモニタ 山城知明
- 体外循環の重大事故とその対処法 百瀬直樹

特集Ⅱ 補助循環

—各種治療法の歴史から最新知識まで—

許 俊鋭

7月号
(No.7)

臨床工学技士の働き方・キャリアアップ

嶋津秀昭 編

- Part 1 養成施設卒業後の道
病院で働く 中島あゆみ
クリニックで働く 金岡泰行
メーカーで働く 古関正俊
大学院へ進学する
①養成施設卒業後すぐに進学 五十嵐 友
②医療現場を経て進学 長江祐吾
教員として働く 高橋良光
行政機関で働く 武内彬正
- Part 2 学会専門認定によるキャリアアップの道
血液浄化専門臨床工学技士 藤平雅紀
日本アフェレンス学会認定技士 山本裕子
4学会合同体外循環技術認定士 吉田幸太郎
不整脈治療専門臨床工学技士 芳森亜希子
呼吸治療専門臨床工学技士 小金乙起
高気圧酸素治療専門臨床工学技士 向畑恭子
高気圧酸素治療専門技師 灘古進也
臨床 ME 専門認定士 藤井清孝
手術関連専門臨床工学技士 田尾伸幸
医療機器情報コミュニケーター (MDIC) 渡邊雅俊

8月号
(No.8)

間歇補充型血液透析濾過 (I-HDF) の適応を考える

峰島三千男 編

- I-HDF の基本—目的・設定条件・診療報酬— 亀井大悟
- I-HDF を可能とする多用途透析装置 大谷浩一
- 末梢循環障害に対する I-HDF の有効性 齋藤 慎
- 透析低血圧症に対する I-HDF の有効性 甲田 豊
- むずむず脚症候群 (restless legs syndrome) に対する I-HDF の有効性 穴戸寛治
- 新しい透析療法—オンライン HDF+I-HDF—の臨床的有用性 長尾尋智
- I-HDF の臨床試験 峰島三千男
- [関連記事]
・レーザドブラ血流計を用いた末梢循環モニタの有用性 庭山 淳

9月号
(No.9)

臨床工学技士と災害対策

—災害時の事業継続計画 (BCP) をどう考える—

戸畑裕志, 廣瀬 稔 編

- 医療施設における地震対策を考える
—熊本地震の経験から— 久木山厚子
- 地震被災地となってわかったことと今後の課題 山田佳央
- 震災の経験と今後の課題
透析室の災害対策 下條隆史
集中治療室の災害対策 山下大輔
- 災害対策への取り組み
人工心肺操作中の災害対策 武島智隆
在宅医療の災害対策と支援
①在宅人工呼吸器使用者 植木隼人
②植込み型補助人工心臓装着患者 秋山正年ほか
- (公社) 日本臨床工学技士会の災害対策への取り組み 森上辰哉
- 病院電気設備と BCP—供給維持に備えて— 奥村雅美

- 医療ガス設備と BCP —供給維持に備えて— 山本修一
[関連記事]
・ 災害時における通信体制の構築 村田沢人
・ 災害時の通信方式はどれが役に立つ？
—防災活動に適したアマチュア無線システム活用事例紹介— 高岡奈瑞

10月号 (No.10) 医工連携への積極的な取り組み —臨床工学技士に期待される役割とは— 加納 隆 編

- 医工連携における現状の課題と国の取り組み 西垣孝行
■ 医療現場における医療機器・福祉機器の開発と課題 百瀬直樹
■ (公社)日本臨床工学技士会が進める
臨・学・産連携の推進 加藤博史
■ 臨床工学技士による取り組み事例
小型軽量自動カフ圧コントローラの開発
—大手部品メーカーと開発した医療機器— 加藤博史
抗がん剤の曝露防止完全一体型輸液セットの開発
—現場の課題を解決する医療機器の開発— 吉田哲也
医療機器テストの開発支援
—医療機器以外の開発— 野沢義則
生命維持装置の遠隔一元監視システムの開発
—IoT 技術の活用— 川邊 学

11月号 (No.11) 医療機器安全管理体制の さらなる充実を目指して —医療機器安全管理責任者配置後 11 年、 現状と課題— 廣瀬 稔 編

- 全国調査からみた医療機器安全管理責任者の現状と課題 新 秀直ほか
■ 中小医療機関における医療機器安全管理の現状 青木郁香
■ 医療機器安全管理責任者の配置義務化 11 年を経過して
—施設全体の安全を配慮する— 高倉照彦
■ 医療機器の保守点検に関する業務の変化と今後の課題
医療機器使用者の安全を配慮した保守点検 野沢義則
医療機器の高度化に対応する保守点検 福原正史
■ (公社)日本生体医工学会の取り組み
—医療機器安全基礎講習会— 中島章夫

12月号 (No.12) 臨床工学部門の 組織のあり方について考える 峰島三千男 編

- 国公立大学病院・国立病院の例 菊地昭二ほか
■ 私立大学病院の例 東條圭一
■ 公立病院の例 野沢義則
■ 赤十字病院の例 脇田邦彦
■ 独立行政法人地域医療機能推進機構病院の例 岡澤勝巳
■ 私立総合病院の例 関根広介
■ 中規模私立医療機関の例 三浦俊二
[関連記事]
・ 施設基準に臨床工学技士が関与する治療 野村知由樹

2019
(Vol.30)

1月号 (No.1) 理解を深めよう！ ICU でよくみるおもな疾患・病態 磨田 裕 編

- 中枢神経系障害(意識障害) 馬渡貴之ほか
■ ショック 政所祐太郎ほか
■ 急性冠症候群 (ACS) 山科 章
■ 急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) 倉橋清泰
■ 急性腎障害 山下徹志ほか
■ 敗血症 (sepsis) 島居 傑ほか
■ 血小板減少症
—播種性血管内凝固症候群, 血栓性微小血管症,
ヘパリン起因性血小板減少症— 江口 豊
■ ICU における血糖コントロール 江木盛時
■ 心臓外科術後症例 八塩章弘ほか
[関連記事]
・ 代謝性アシドーシス 大塚将秀
・ せん妄 鶴田良介

2月号 (No.2) 高気圧酸素治療の再確認と創意工夫 廣谷暢子, 廣瀬 稔 編

- しっかり復習 高気圧酸素治療の原理
—物理的原理から応用への展開— 野原 敦
■ 高気圧酸素治療の適応疾患はどうなるのか 柳下和慶
■ 高気圧酸素治療のこれからの展望 土居 浩
■ 装置操作担当者の役割と安全運用とは
① 第 1 種装置 齋藤謙一
② 第 2 種装置 前田卓馬
■ 施設のマニュアル紹介
① 第 1 種装置 福富大介
② 第 2 種装置 入船竜史
■ 未来の人材育成
① 第 1 種装置 灘吉進也
② 第 2 種装置 寺田直正
[関連記事]
・ 高気圧酸素治療における「耳抜き動作」について 廣谷暢子

3月号 (No.3) 透析療法における医療安全 —レジリエントな透析ケアを目指して— 篠田俊雄 編

- 透析医療における
レジリエンス・エンジニアリングの適用 北村温美ほか
■ 血液透析の手法, 治療中の患者観察における
安全・円滑な業務手順を目指して 佐藤久光
■ 安全な通院への支援—送迎と通院介護— 水内恵子
■ 治療中の安全・円滑な透析装置の稼働を目指して 本間 崇
■ 治療の安全性を担保する透析液清浄化を目指して 内野順司
■ 透析事故のトラブルシューティング 山家敏彦